



矢川だより

特集

ものの市2025レポート



No.138

2025.12.Winter

理事長就任挨拶



こんにちは。

このたび滝乃川学園の理事長に就任しました谷正行(たにまさゆき)です。

滝乃川学園は、国立市内に約8千坪の敷地を持ち、学園内には教会があり、小川が流れ、初夏には蛍も飛ぶという、自然豊かな環境にあります。そして何より、門に鍵をかけない、地域に開かれた学園です。

私自身、1960年代の広島市内で育ちましたが、当時も家に鍵をかけず、近所の人たちが自然に助け合う、そんな時代でした。滝乃川学園には、あの頃のような人と人との温かいつながりが今も息づいていると感じています。

これまで私は、伊藤忠商事、リコー、IBMの子会社で社長を務めた後、自分の会社を経営してきました。福祉の現場は初めてですが、企業での経験を活かして、学園の運営に新しい視点を加えていければと考えています。

今、社会は「福祉の社会化」から「社会の福祉化」へと変わりつつあります。福祉が特別なものではなく、誰もが関わり、支え合うものとして社会全体に根づいていく時代です。滝乃川学園もその流れの中で、地域とともに歩み続けたいと思います。こうした学園を、ぜひ一度訪ねてみてください。

皆で御待ちしております。

令和7年10月

滝乃川学園 理事長 谷 正行



障害のある誰もが地域で暮らせるように、自立をサポートする『CIL くにたち援助為センター』の職員。現在は、『ヘルプ協会くにたち』でヘルパーの人材派遣を運営している。

矢川 の ひと



CILくにたち援助為センター
篠原 由美 (しのはら・ゆみ) さん

当事者目線で、 自立をサポートする

私が所属しているCILくにたち援助為センターは、障害者スタッフと健常者スタッフが共に仕事をしていく、障害のある誰もが地域で自立した生活を送るように、当事者の目線から支援をしています。滝乃川学園では、障害のある方の権利を守る『権利擁護委員会』に所属し、利用者さんの暮らしの中の権利を守るサポートをしています。利用者さんが行動しづらくなつていなかなど、実際に学園内を見学して安全に安心して過ごせるように提案することもあります。その中の一つとして、利用者さんの自分の権利を考える『本人活動』のお手伝いもしています。障害のある方の中には、自分のしたいことや、実際にそれをしてもいいか、判断することが苦手な方が多くいます。規制やルールがあることが当たり前だと思ってしまつてしたり、ヘルパーさんや家族の手を借りることに対して遠慮してしまうんです。そんな時には「どうしたい?」と聞いてみます。少しでもやりたいと思うことがありそうなら、「いいんだよ」「やってみようよ」と伝えてみます。外出する時も同じで、行きたい場所に自分のペースで行つてもらう。事前に決めていた場所でなくともいいんです。自由な行動をしてもらえる時間と一緒に作つていくことが、自立のきっかけになつてくれればいいと思っています。

ここを訪れる人たちが新しい風、種、実りとなつて未来の滝乃川学園の風景を形づくっていきます
ここに集う人たちがともに育てていく
「ものの市」のにぎわいのようにみんなで描いていきますように
これから学園の景色も



やがわ荘から見た正門と森のカフェ

多種多様な木々がともに育ちながら森をつくっていくように

ものの市2025のウラガワ

みんなが楽しめる『ものの市』の開催に向けて全部署から行事係が集まり、会議を重ねながら準備を進めてきました。そんなものの市の裏側を紹介します！

景品づくり



子どもから大人まで楽しんでもらえるよう、クイズ形式のスタンプラリーや壁絵などを企画・制作しました。ゴールした時にもらえるクイズラリーの景品は、1つ1つスタッフの手作りです。

展示準備



おあしす棟では、Tシャツアートで展示されるたくさんの個性豊かなTシャツを、1枚ずつきれいに、見やすく飾るために、試行錯誤しながら展示していきました。

ブース準備



↑
当日の出店ブース
になります！

マップ設置



ものの市当日は、お客様が迷わず楽しんでいただけるよう、園内マップを掲示しました。子どもから大人まで来場されるため、誰にとっても見やすく、わかりやすい位置に設置してお迎えしました。



行事係の会議の様子



礼拝堂での音楽イベントの様子



ガーデンでの音楽イベントの様子

年に一度の秋のイベント
今年も 10月19日㈰
ものの市2025
開催しました！

毎年、秋に行われる『ものの市』を今年も開催しました。当日は、雨が降ったり止んだりな天気の中、手作り雑貨や、アーティスト、キッチンカーなど地域の団体が滝乃川学園に集まって盛り上がりました！このコーナーでは、開催に向けた準備の様子からワークショップなどの当日の様子まで、紹介していきます！



ものの市に遊びにきたくにニャン



ものの市当日の正門の様子

in
ものの市
2025

ワークショップ & アート展示

今年の『ものの市』では、子どもも大人も楽しめるワークショップや展示企画も行いました。その様子を紹介します！

滝乃川学園 リース作り体験

学園とボランティアの皆様が協力して庭作りを行っている『滝乃川学園ガーデンプロジェクト』によるワークショップも行われました。ガーデン内で育った、花や草木を使ってオリジナルリースを作る体験です。「松ぼっくりをどこに入れようか？」など悩みながら滝乃川学園ガーデンを巡って、花や草木を集めながらオリジナルリースを作りました。

滝乃川学園 Tシャツペイント

おあしす棟の外では、Tシャツをキャンバスに見立てて自由に絵の具をペイントできるブースが登場しました。勢いよく絵の具をスプラッシュ！普段なかなかできない体験に子ども達は夢中になっていました。また、おあしす棟の中ではTシャツやトートバッグに好きな絵をペイントできるワークショップも開催。親子で一緒に『世界に1枚だけのオリジナルTシャツ』を作り上げている様子も見られました。

完成!!



オリジナル Tシャツアート展示

おあしす棟2階のフロアでは、着なくなった古着の布を切り貼りしたり、絵の具で好きな絵をペイントしたり、個性豊かな『世界に1枚だけのTシャツ』を展示しました。滝乃川学園の各部署や国立市内の事業者様に協力していただき、色々な想いの詰まった素敵なTシャツ171枚が集まり、2階のフロアをぐるっと囲んで展示されました。ものの市当日に展示を見たお客様は、1枚1枚ゆっくりとTシャツを見て回ってくれました。



滝乃川学園ではたらぐく

毎年、ものの市に合わせて設置される『滝乃川学園法人ブース』。今年も『矢川だより』の配布をはじめ、学園内の案内や、滝乃川学園で働くことを考えている方への相談対応が行われていました。

ものの市当日、礼拝堂の向かいに『滝乃川学園 法人ブース』が設置されました。法人ブースでは、学園の紹介や働き方に関する相談など、来場された方々との交流が行われていました。



「もの市」の法人ブースには、福祉の仕事に興味を持つ方や、学園で働いてみたいとう方が立ち寄ってくださいます。昨年は、実際に法人ブースでお話した方が、後に採用まで進んだケースもありました。

採用説明会も普段開催していますが、参加のハードルを感じる方もいらっしゃいます。ものの市のようなイベントでは、楽しみながら、開放

「国立人」は、のびやかにはたらく人を大切にする国立（くにたち）エリアの求人サイトです（<https://kunitachijin.com/>）

的な気持ちで気軽に相談していただけたらと思います。

私自身は今年2月から滝乃川学園で働いています。現在は経営管理部に所属し、帳簿や会計を担当しています。滝乃川学園では分業が進んでおり、自分の専門性を活かして働けることが魅力です。

都内でこれだけ広い敷地内に、法人のほとんどの部署が揃う福祉施設はなかなかありません。児童部から成人部まで、幅広い年齢の利用者様が自然豊かな環境で一緒に暮らしています。敷地内で生活が完結しているからこそ、部署を超えて学園全体で生活を見守ることができます。『外に歩きに行つてきます』の一言で行動を共有できる、安心感のある職場です。

（K 職員）

まずは気軽に今の滝乃川学園を見に来ていただけたら嬉しいです」



また、滝乃川学園の正門に

私たちと一緒に働きませんか！

支援員募集中

詳しくは滝乃川学園のホームページの「採用情報」をご覧ください。
見学等、隨時受け付けています。

問い合わせ

法人本部運営管理部人事科

TEL | 042-573-3950 (9時~17時)



スタッフのサークル紹介

バドミントンサークル

滝乃川学園では、職員同士の交流を増やす場としていくつかのサークルが活動を行っています。今回は、その中のバドミントンサークルについてお話を伺いました。



お話を聞いた E 職員

バドミントンサークルは、昨年発足したばかりの新しいサークルです。現在14名のメンバーがおり、仕事が終わってから直接参加する人もいて、休日に家から来る人もいて、それぞれのペースで無理なく参加しています。

滝乃川学園は広い敷地の中に複数の建物が点在していて、部署ごとの距離があるため、どうしても他部署の職員とは関わりが少くなりがち

です。ですが、バドミントンサークルのメンバーにはさまざまな部署で働いている人がいて、メンバーみんなが部署や年齢の垣根を超えて、自由に楽しみながら活動しています。

サークル活動の時間は、普段聞けないことを聞けたり、職場や他部署への理解を深められる貴重な交流の場だと感じています。福祉の仕事は、時に我慢をして相手と向き合わなければならぬ場面もあります。そんな時に、サークル活動で体を動かし、職員同士でコミュニケーションをとることで気持ちの切り替えができる、前向きな気持ちで仕事を向かい合っているように感じています。



あおいとり保育園の園長先生に聞く
矢川あたりの
鳥たち虫たち

滝乃川学園のご近所、「国立あおいとり保育園」の園長・佐伯元行さんは、幼い頃から生き物博士！ そんな佐伯園長に、滝乃川学園界隈でその季節に見られる鳥や虫を教えてもらいましょう。

その11
赤トンボ



葉にとまるナツアカネ



枝にとまるアキアカネ



ミヤマアカネ



コノシメトンボ

写真・文：佐伯元行

「夕焼け小焼けの赤トンボ」と歌にも歌われていますが、実は赤トンボという名前のトンボはおらず、アカネ属というグループの総称です。学園周辺には7種前後見られ、羽に帯があるかないか、位置は先端か中程かとか、オスの胸が成熟すると赤くなるかの違いなどで見分けます。日本全国には青や黒色の赤トンボもいます。

やがわ荘の1年

やがわ荘では、認知症のため様々なことを忘れてしまったり、わからなくなってしまったりという困難がある中でも、今を一生懸命に生きる方々が暮らしています。『あい ふれあい ささえあい』をモットーに『利用者様』『職員』という枠を超えた関わりを大切にしています。また、利用者様がこれまで経験してきた、行事や習慣をやがわ荘でも継続していくよう、季節ごとのイベント開催をしています。1年間のイベントを紹介します！



1月 お正月

毎年、利用者様の協力を得て年末からお煮しめ、栗きんとん、伊達巻を手作りで用意します。三が日は朝食におせちをお膳で提供したり、無事に1年が始まったことをお祝いしています。日々、様々なお手伝いをしてくださる利用者様ですが、この日ばかりは福笑いをしたり、箱根駅伝や笑点等の特番を見たりと、ゆっくり穏やかな時間を過ごしています。



7月 夕涼み会

今年初企画の行事で、竹を割るところから作ってもらった装置で、みんなで流しそうめんを食べました。そうめんの流れが速すぎたり逆になかなか流れなかったりとハプニングもありつつ、終始賑やかに行われました。地域の方々や他の部署の利用者様も一緒に参加して、バンド演奏に合わせてみんなで歌ったり、スイカ割りや花火をしたりと楽しい会となりました。



9月 敬老会

1年の中で一番大切な、やがわ荘の皆様のご長寿をお祝いするイベントです。今年はみんなでおしゃれをして利用者様のご家族と一緒にお店で豆腐懐石を食べました。様々な行事は利用者様にとってはもちろんのこと、ご家族同士や職員とも関係を深める大切な時間です。職員からは、日ごろの感謝を込めて利用者様一人一人にプレゼントもお渡ししています。



12月 クリスマス会

ツリーの点灯式からスタートした昨年のクリスマス会では、シャンメリーで乾杯し、オムライス弁当やサンタやトナカイが載ったケーキなど、クリスマスらしいお食事をいただきました。利用者様手作りのクリスマスカードを、ご家族へプレゼントする様子も。皆様参加して曲を奏でる即興ジングルベル演奏会や、スライドショー、読み聞かせなど、多くの出し物で賑わいました。最後には、やがわ荘美女合唱団の皆様がバンドに合わせて大合唱して盛り上りました。

ジングルベル演奏会の様子

チャップレンからの クリスマスマッセージ

— 学園チャップレン 主教アンデレ大畠喜道



わたしは落語が好きで良く寄席に行きます。子どもの出る漸の枕でよく使われる漸です。

「タカちゃん遊びにおいでよ。」「嫌だよ、よっちゃんの家は狭いんだもん。」「大丈夫だよ。この間お父ちゃんがみんな売つちゃった」子どもにみんなばらされてしまう。しかしよく考えると極めて素晴らしい生き方かも知れないなと思います。あれも必要、これも必要。私たちは何時も追い立てられています。何もなくなつたら広くなる。less=moreこれからは引き算生活が大切なんじゃないかと言う話を聞きました。私たちはもっと多く、もっと多くという恐怖心

に振り回されているようです。モノの量やお金が沢山ある方が豊かで幸せだと勘違いしているのです。More、Moreという考え方を略奪しても豊かになる方が良い。豊かになる人がいる一方で、搾取されて踏みつけにされる人が世界で沢山のものを創り出すことができる人は役に立つ良いけれども、能力もない、面倒で、人の世話にならないとダメな奴は小さくなっています。現代社会はそのよう総括できるかも知れません。高齢者や人と少し違っている人がとても住みにくくなっています。



そんな状態はいつ頃から始まったのでしょうか。有史以前からそうだったかも知れません。そんな状況を神は放置しなかつたと聖書は私たちに伝えています。

実はクリスマスはそのことを目に見える形で示した出来事です。貧しいナザレの村のおとめに神は白羽の矢を立てます。豊かな者は神に祝福を受けています。貧しい人は神に捨てられる存在だということが常識だった時に。神はどちらに味方するのかを人々に教えます。

クリスマスの出来事は当時、貧しく虐げられている人々が主役です。最初に救い主の誕生を知られたのも賤業と言われる仕事をし

ていた羊飼いでした。博士が救い主を拝みに来て時の王に尋ねます。しかし王にはイエスの誕生を見せることはありませんでした。救い主は徹底して貧しさの中で生活し、この世界から排除されたり不需要とされた友として寄り添い愛を示されました。

クリスマスを祝うには、私たちの生活を引き算生活にし、この世に不必要と言われる人こそ神に愛されているという逆転のできごとを喜ぶ事が大切です。神はクリスマスを祝う私たちに、一度立ち止まって、もっともっとと言ふことから抜け出すようにと勧めておられます。

クリスマスおめでとう

恐れるな、わたしはすべての民に与えられる
大きな喜びを告げる



2026年1月オープン
『新宿ともいろ』
オープニング
スタッフ募集中！



ご支援のお願い

日頃より私たち滝乃川学園に温かいお心をお寄せいただき、深く感謝申し上げます。私たち滝乃川学園は、障害のある人々がみずからの幸せを希求できる場を創造、提供し、それを支援する有為な人材を育て、学園の発展のみならず、わが国の障害者福祉のさらなる進歩に貢献できるよう、役職員一同、先駆者としての誇りを胸に、努力していく所存です。引き続き、皆様のご指導とあたたかいご支援を宜しくお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行

専用の払込票がございます。必要な方は、お電話またはメールにてお問い合わせください。

お振り込み先

三井住友銀行

銀行名：三井住友銀行国立支店
口座番号：普通預金 0921148
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園

三菱UFJ銀行

銀行名：三菱UFJ銀行府中支店
口座番号：普通預金 0002309
口座名義：社会福祉法人滝乃川学園

感謝録
寄附者
ご紹介

ホームページにて、2025年7月1日から2025年10月31までにご寄附をいただきました皆様をご紹介させていただいております。

ボランティア募集！

滝乃川学園では、日中活動支援、余暇活動支援、園内環境整備（除草・落ち葉掃きなど学園内の清掃・整備）などのボランティア活動をしてくださるボランティアの方を募集しています。イベントボランティアは、随時ホームページにて情報を掲載していきます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

ボランティア担当

【電話】042-573-3950 (9時～17時)

滝乃川学園 ガーデンプロジェクト

園内にある500坪ほどの敷地にコミュニティガーデンを作り、内外の人々がみんなで協力して、維持管理をしながら、誰もが憩うことができる場所を目指して活動しています。まずは気軽にガーデンの見学にいらしてください。お待ちしています！

【日時】「滝乃川学園ガーデンプロジェクト」のフェイスブック（公式ページ）で最新の日程をお知らせしていますので、ご確認ください。

【場所】滝乃川学園内 聖三一礼拝堂前

【服装】汚れてもよい服装、靴

ガーデンプロジェクト担当

【電話】042-573-3950 (9時～17時)

矢川だより読者の
皆様の声を募集しています！

アンケートフォーム
はこちらから



矢川だよりを読んで感じた
皆様の感想をお聞かせください！



滝乃川学園
TAKINOGAWA GAKUEN

インフォメーションボード

2025年
12月

矢川だより編集係が選ぶ インスタおすすめ投稿BEST3

滝乃川学園公式インスタグラムでは、学園の日常を発信しています！

矢川だより編集係のおすすめの投稿を紹介します！



1位 ものの市 2025



takinogawagakuen
10月19日、無事にもの市を開催することができました～!
天気はイマイチでしたが1000人以上の方にご参加いただきました。
来てくださった皆様、本当にありがとうございました😊
また来年も皆様にお会いできることを心より楽しみにしています！
くにゃんちありがとうございます！



2位 ともいろオープニング
スタッフ募集！



新規拠点の開設事業に向けて、会議や研修を行なっています！先日は開設者の皆様と上級式を行いました。
滝乃川学園の新たな課題と一緒に作りてくれるオープニングスタッフを
募集しています！
興味のある方は是非ご応募ください。
お問い合わせはお問い合わせ窓口までお問い合わせください。
お問い合わせ 042-573-3950 (9:00～17:00)



3位 ガーデン夏野菜とさにー



takinogawagakuen
ガーデンにはまだ夏野菜があり、収穫後等ディサービスの子どもたちと収穫をしました～！ミニトマトはトマトらしい味でした😊

おすすめの投稿をぜひ、見てみてください！

Follow
me!!



他にも、滝乃川学園の日々の様子
をゆる～く発信しています。
お気軽にのぞいてみてください！

矢川だより

No.138

矢川だより 第138号
2025年12月発行

発行 社会福祉法人 滝乃川学園
制作 矢川だより編集会議
合同会社三画舎



〒186-0015
東京都国立市矢川三丁目16番地の1
電話 042-573-3950 (代表)
メール soumu@takinogawagakuen.jp
HP <https://www.takinogawagakuen.jp/>

